

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	4. 電子自治体推進事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	17. 情報システム費	担当所属	情報システム課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額				
臨時	単独	計画	0	0	2,978	実施計画	第5章 基本施策5	市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	令和3年度	0	
								行政財源運営	令和4年度	4,194	
								施策4	行政手続の簡素化と利便性の向上を図ります	令和5年度	4,370
										令和6年度	4,370
									令和7年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		4,066

財源内訳	本年度当初要求額	本年度当初査定額	一般財源
			0
			4,066

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・千葉県電子自治体共同運営協議会が共同運営する電子申請システム、施設予約システムに参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムを運営します。 ・施設予約システムを運営します。 ・びったりサービスによる申請受付を運営します。 ・AI音声認識技術を利用したAI議事録作成システムを導入し、全庁展開します。 	<p>(事業の目的) ・市内外のDXを推進することで、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術を活用する環境を整備することにより、市民サービスが向上し、市民の生活をより良いものに変革するとともに、行政事務を効率化します。 	<p>(事業の効果) ・市民が情報通信技術を利用して、行政情報を効率的に取得したり、来庁せずに、いつでもどこでも行政サービスを利用できるようにすることで、市民の生活がより便利になり、市民サービスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副次的な効果として、行政事務が効率化し、余剰となったリソースを新たな市民サービスに投入することができます。
<p>(事業実施上の問題点) ・他市町村との共同運営するシステムに係る費用については、協議会にて各自治体の按分費用が決定されるため、佐倉市にて経費を見直す余地がありません。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・全庁にて希望が多く、他市でも導入効果が高いと報告されている議事録作成ソフトについて、DX推進室にて取りまとめの上、予算を要求しています。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
13	3,917	3,147	770
18	149	150	△1

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源											
							差引一般財源	0	4,066	0	4,066